

甲南大学の取り組み

理工学部 進化型理系シンポジウム

伊藤公平「私立4・0における理系の役割」 慶應義塾長 大学

甲南大学（兵庫県神戸市）は3月8日、岡本キャンパス内の甲友会館で、藤塾長と甲南大学の教員、卒業生によるパネルディスカッションを実施した。

理系人材養成の最前線『進化する「甲南理系」』をテーマとした「パイオ」を中心とした、各専門分野の研究に革新をもたらす「進化型理系」を推進している。

当日は、伊藤公平慶應義塾長（慶應義塾理事長兼慶應義塾大学長）が「私をもちらす」をもちらす「進化型理系」を推進している。

令和8年4月には理工学部設置を記念して、イノベーションで創造する未来を調べる。

伊藤塾長に大学・高専機能強化支援事業（環境・エネルギー工学）を新設。

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物



中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

界のさまざまな大学で研のAIに関する研究、教育が社会に与える三つの取り組み、インパクトを指標として、V学生が教員の評価につながる動AIの使い方をきが出てきている。こう、教員や学生に教した中で、私立大学がどえていくこと、くのか問われている」と、ロン大学の最説明。テクノロジが数先端のAI研究年間で陳腐化する時代に、パートナーシッ



パネルディスカッションで活発な意見交換を行った

「理工学のチカラで創造する未来と次代の理系仕事に役立つ」と述べた。

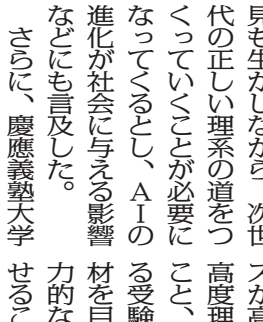
伊藤塾長は「チーム」ということは、理系の学生が文系の学生と当然のようにチームとなり、その中で議論すること、重要になってくる」と述べた。

池田教授は「発見や開発には、ボジティブシンキングが大事だ。無駄な実験は絶対ない。実験結果から次の方法を考えることを積み重ねるプロセス思考の人材こそが高度理系人材だ」と考えを示した。

石川助教は「フロンティアサイエンス学部では、

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物



中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

1年生から、幅広い分野の教員が行う基礎的な講義や実験によって自分の土台を作ることができる。多様な学問が関連する再生医療分野で新しいことに挑戦するときに、同学部での経験が生きる」と説明した。

松本氏は「AIを活用して企業の電子システムの導入と効果的な運用を支援するサービスを提供する会社でウェアラブルデバイスを務めている。大学の研究室ではチームでプログラムの開発に取り組む、その過程で身に付けた知識を応用することで仕事に役立っている」と述べた。

伊藤塾長は「チーム」ということは、理系の学生が文系の学生と当然のようにチームとなり、その中で議論すること、重要になってくる」と述べた。

池田教授は「発見や開発には、ボジティブシンキングが大事だ。無駄な実験は絶対ない。実験結果から次の方法を考えることを積み重ねるプロセス思考の人材こそが高度理系人材だ」と考えを示した。

石川助教は「フロンティアサイエンス学部では、

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物

中井学長は、理工学部の物理学科を「宇宙理系・量子物